

平成23年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社アドバンスクリエイト
 コード番号 8798 URL <http://www.advancecreate.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 濱田 佳治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営企画本部長 (氏名) 村上 浩一

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 06-6204-1193

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年9月期第1四半期の連結業績(平成22年10月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年9月期第1四半期	1,715	6.9	120	20.6	26	10.0	36	43.4
22年9月期第1四半期	1,605	1.9	100	△22.8	23	△65.4	25	△67.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年9月期第1四半期	332.04	330.11
22年9月期第1四半期	230.05	229.35

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年9月期第1四半期	7,872	4,404	43.5	31,417.72
22年9月期	7,837	4,607	45.8	32,784.14

(参考) 自己資本 23年9月期第1四半期 3,421百万円 22年9月期 3,587百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年9月期	—	1,500.00	—	1,500.00	3,000.00
23年9月期	—				
23年9月期(予想)		1,500.00	—	1,500.00	3,000.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年9月期の連結業績予想(平成22年10月1日～平成23年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,050	24.3	750	134.8	550	266.1	300	118.4	2,756.39
通期	8,050	18.8	1,350	76.1	1,050	144.5	600	34.5	5,524.91

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年9月期1Q 109,991株 22年9月期 112,391株

② 期末自己株式数 23年9月期1Q 1,092株 22年9月期 2,963株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年9月期1Q 109,203株 22年9月期1Q 109,938株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビューは完了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている当社の業績見通しは、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジア新興国市場の需要拡大や国内の各種景気対策等に支えられ、緩やかな回復基調で推移しましたが、海外経済の減速懸念、円高の進行、原材料価格の高騰などの下押しリスクの高まり、さらにデフレ基調が持続する中、雇用情勢は依然厳しく、先行きに一層不透明さを増す状況となっております。

このような状況の下、当社グループは、基幹である日本最大級の保険比較サイト「保険市場（ほけんいちば）」をプラットフォームとして、本Webサイトから「保険情報」の提供と併せ「資料請求・来店予約・契約締結」等の「一気通貫型のサービス」を提供することにより圧倒的な集客力を確保してまいりました。

これにより来店型店舗「保険市場（ほけんいちば）」においては、徹底したお客様志向の相談体制の下で新規契約の増加を図り、「Web to Real」の効率的・効果的な営業体制を実現すると共に、ますます需要が高まっているネット完結型保険商品の販売力強化も併せて実現しております。

また、Webサイト「保険市場（ほけんいちば）」への資料請求数の増加と、テレマーケティング部門の増強に伴い、お客様からの「問合せ・相談」が着実に増加しておりますので、その情報を活用するために、元受保険会社及び来店型保険ショップやコンサルティング営業を展開する他の保険代理店と協同して対応する「協業」戦略を更に強化し、Realでの店舗網は全国で概ね300拠点に拡大する見込みであります。

今後とも、「お客様が最適・快適な購買環境で、簡単便利に保険を購入いただく」ことを基本方針とし、あらゆる保険ニーズに対応できるプラットフォーム戦略を推進し、お客様のニーズに機敏に対応してまいります。

以上の取組みにより、当第1四半期連結累計期間における新規の保険契約件数は68千件（前年同期比16.8%増）、当第1四半期連結会計期間末の保有契約件数につきましても407千件（前連結会計年度末比4.2%増）となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,715百万円（前年同期比6.9%増）、営業利益は120百万円（前年同期比20.6%増）、経常利益は26百万円（前年同期比10.0%増）、四半期純利益は36百万円（前年同期比43.4%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

保険代理店事業におきましては、営業収益は1,637百万円、営業利益は115百万円となりました。

広告代理店事業におきましては、売上高は94百万円、営業利益は12百万円となりました。

損害保険事業におきましては、顧客サービス体制の拡充、販売ネットワークの拡大に注力し、当第1四半期連結累計期間における売上高は34百万円、営業利益は0円となりました。

再保険事業におきましては、元受保険各社との紐帯強化をベースに、当第1四半期連結累計期間における売上高は18百万円、営業損失は5百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ総資産は34百万円増加し7,872百万円、負債は237百万円増加の3,467百万円、純資産は202百万円減少の4,404百万円となりました。

資産の増加の主な要因は、ソフトウェアの増加182百万円であります。負債の増加の主な要因は、短期借入金が増加342百万円であります。また、純資産の減少の主な要因は配当による利益剰余金の減少127百万円であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ193百万円減少し、988百万円となりました。当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間においては、減価償却費96百万円（前年同期は73百万円）等により、営業活動により獲得した資金は74百万円（前年同期は193百万円の支出）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、保険業法第113条繰延資産の取得による支出169百万円（前年同期は148百万円の支出）等があり、415百万円（前年同期は399百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における財務活動の結果、短期借入金が増加（前年同期は600百万円の増加）したこと等により、147百万円（前年同期は452百万円の収入）の資金を獲得いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年9月期の連結業績予想につきましては、平成22年11月12日に公表しました第2四半期累計期間及び通期業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成23年2月10日に公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

2. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に、経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングを利用しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①会計処理基準に関する事項の変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

②表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,091,888	1,210,262
受取手形及び売掛金	1,299,031	1,333,631
繰延税金資産	253,592	253,592
その他	326,904	221,557
貸倒引当金	—	△1,274
流動資産合計	2,971,417	3,017,769
固定資産		
有形固定資産	447,943	463,123
無形固定資産		
のれん	158,442	166,331
広告実施権等	178,586	187,949
ソフトウェア	398,799	216,314
その他	141,648	355,152
無形固定資産合計	877,476	925,748
投資その他の資産		
投資有価証券	201,682	201,829
保険積立金	1,077,920	1,077,756
差入保証金	685,187	566,478
その他	180,499	241,411
投資その他の資産合計	2,145,289	2,087,475
固定資産合計	3,470,709	3,476,346
繰延資産		
開業費	105,520	117,665
保険業法第113条繰延資産	1,281,302	1,169,374
その他	43,463	56,736
繰延資産合計	1,430,287	1,343,776
資産合計	7,872,413	7,837,892
負債の部		
流動負債		
短期借入金	985,000	642,500
賞与引当金	64,223	125,995
店舗閉鎖損失引当金	9,605	—
代理店手数料戻入引当金	27,725	20,929
その他	1,260,887	1,320,579
流動負債合計	2,347,441	2,110,004
固定負債		
社債	540,000	540,000
退職給付引当金	67,541	60,353
その他	512,682	519,910
固定負債合計	1,120,223	1,120,263
負債合計	3,467,665	3,230,267

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,915,314	2,915,314
資本剰余金	483,707	615,018
利益剰余金	77,235	205,117
自己株式	△61,931	△155,243
株主資本合計	3,414,326	3,580,207
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,032	7,295
評価・換算差額等合計	7,032	7,295
新株予約権	2,060	2,060
少数株主持分	981,329	1,018,061
純資産合計	4,404,748	4,607,625
負債純資産合計	7,872,413	7,837,892

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	1,605,104	1,715,171
売上原価	561,279	540,142
売上総利益	1,043,825	1,175,029
販売費及び一般管理費	943,633	1,054,242
営業利益	100,192	120,786
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,520	569
その他	12,367	4,395
営業外収益合計	13,888	4,965
営業外費用		
支払利息	9,727	7,764
開発費償却	18,879	10,055
保険業法第113条繰延資産償却	41,035	63,736
その他	20,621	18,005
営業外費用合計	90,264	99,562
経常利益	23,815	26,189
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,501	1,274
特別利益合計	1,501	1,274
特別損失		
店舗閉鎖損失	9,069	19,948
その他	1,291	941
特別損失合計	10,360	20,889
税金等調整前四半期純利益	14,956	6,574
法人税、住民税及び事業税	9,158	7,045
法人税等合計	9,158	7,045
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△471
少数株主損失(△)	△19,493	△36,731
四半期純利益	25,291	36,260

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	14,956	6,574
減価償却費	73,533	96,638
のれん償却額	8,202	7,888
代理店手数料戻入引当金の増減額 (△は減少)	—	6,795
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,501	△1,274
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△61,556	△61,772
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	7,090	7,188
受取利息及び受取配当金	△1,520	△569
支払利息	9,727	7,764
繰延資産償却額	79,856	89,154
売上債権の増減額 (△は増加)	△263,598	40,019
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,819	—
その他	9,071	△79,561
小計	△131,556	118,845
利息及び配当金の受取額	1,219	258
利息の支払額	△9,018	△5,827
法人税等の支払額	△47,970	△30,019
店舗閉鎖による支出	△6,117	△8,712
営業活動によるキャッシュ・フロー	△193,443	74,544
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△75,345	△75,000
定期預金の払戻による収入	2,760	—
有形固定資産の取得による支出	△6,250	△148,855
無形固定資産の取得による支出	△39,716	△36,352
貸付金の回収による収入	4,843	—
保険積立金の積立による支出	△9,313	—
差入保証金の差入による支出	△139,496	△918
差入保証金の回収による収入	11,957	12,818
保険業法第113条繰延資産の取得による支出	△148,950	△169,714
その他	—	2,513
投資活動によるキャッシュ・フロー	△399,511	△415,509
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	600,000	685,000
短期借入金の返済による支出	—	△342,500
長期借入金の返済による支出	△15,400	△15,400
自己株式の取得による支出	△15,451	△47,965
配当金の支払額	△128,404	△129,825
その他	12,025	△1,497
財務活動によるキャッシュ・フロー	452,768	147,812
現金及び現金同等物に係る換算差額	△102	△221
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△140,289	△193,373
現金及び現金同等物の期首残高	1,259,143	1,182,243
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,118,854	988,869

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(セグメント情報等)

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自平成21年10月1日 至平成21年12月31日）

	保険代理店事業 （千円）	広告代理店事業 （千円）	損害保険事業 （千円）	再保険事業 （千円）	計 （千円）	消去又は全 社（千円）	連結 （千円）
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	1,516,133	55,450	28,735	4,784	1,605,104	—	1,605,104
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	31,443	11,546	—	—	42,989	(42,989)	—
計	1,547,576	66,997	28,735	4,784	1,648,094	(42,989)	1,605,104
営業利益又は営業損失（△）	107,398	△3,883	—	△3,927	99,587	604	100,192

(注) 1. 事業区分の方法

経営の実態が具体的かつ適切に開示できるよう、事業を区分しております。

2. 各事業区分の内容

保険代理店事業 生命保険および損害保険の代理店業。

広告代理店事業 Webプロモーションその他広告業務取扱いおよび企画、制作ならびにマーケティング等サービス活動。

損害保険事業 損害保険業。

再保険事業 再保険業。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自平成21年10月1日 至平成21年12月31日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自平成21年10月1日 至平成21年12月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

①報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、当社及び連結子会社を構成単位とした単位により事業活動を展開しております。

従って当社グループは事業の種類に基づき「保険代理店事業」、「広告代理店事業」、「損害保険事業」、「再保険事業」の4つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの概要は以下の通りであります。

保険代理店事業 生命保険、損害保険の代理店業及び付帯業務。

広告代理店事業 Webプロモーションその他広告業務取扱い及び企画、制作並びにマーケティング等サービス活動。

損害保険事業 損害保険業。

再保険事業 再保険業。

② 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自平成22年10月1日 至平成22年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	保険代理店 事業	広告代理店 事業	損害保険事 業	再保険事業			
売上高							
外部顧客への売上高	1,582,556	79,834	34,036	18,744	1,715,171	—	1,715,171
セグメント間の内部売上 高又は振替高	55,363	14,626	—	—	69,989	△69,989	—
計	1,637,919	94,460	34,036	18,744	1,785,160	△69,989	1,715,171
セグメント利益又は損失 (△)	115,982	12,149	—	△5,705	122,426	△1,639	120,786

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,639千円にはセグメント間取引消去△435千円及びのれんの償却額△1,203千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。